

平成 21 年 5 月 14 日

植物由来エンジニアリングプラスチックの量産化に向けて
～ 高機能ポリカーボネート樹脂パイロットプラント建設～

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社（所在地：東京都港区、社長：小林 喜光、以下「三菱化学」）は、植物由来のポリカーボネート（以下「バイオポリカーボネート」）の開発及び量産化に向け、当社黒崎事業所（所在地：福岡県北九州市）内にパイロットプラントを建設することを決定いたしましたのでご連絡いたします。パイロットプラント建設の概要は下記の通りです。

三菱化学は、持株会社である三菱ケミカルホールディングス社中期経営計画“ APTSIS 10 ”の育成事業である「サステイナブルリソース」の一つとして、バイオプラスチックの開発に取り組んでいます。

この度開発したバイオポリカーボネートは、光学特性に優れ、耐光性や表面硬度等に高い機能を有した植物由来の透明耐熱エンジニアリングプラスチックであり、ポリ乳酸を原料とした植物由来プラスチックと比べ大幅に耐熱性・耐久性に優れております。今後、最先端の光学・エネルギー関連部材又はガラス代替用途等拡大が見込まれる市場への展開が期待されております。当該パイロットプラントでは、バイオポリカーボネートの量産化に向けた実証研究を実施する予定で、あわせて当社は、市場開発の促進を積極的に進めてまいります。

今後、サステイナブルリソース事業の拡大を通じて、CO2 排出削減を達成し、低炭素社会の構築に向け貢献してまいります。

記

パイロットプラント建設概要（予定）

着工時期	2009 年 6 月
完成時期	2010 年 4 月
能力	300 t/Y
投資金額	約 20 億円

以上

【本件に関するお問合せ先】

三菱化学株式会社 広報・IR 室

TEL： 03-6414-3730